

議題2 千葉柏道路について

令和2年6月3日

千葉県道路協議会

国道16号(野田市～千葉市)の主要渋滞箇所と周辺道路整備

○国道16号には主要渋滞箇所が多数存在している。

○周辺では、H30.6.2に外環(三郷南IC～高谷JCT)が開通。また、H31.3.3に北千葉道路(成田市船形～押畑)が開通し、県道の整備など、さらに周辺の道路ネットワークが変化。



国道16号(野田市～千葉市)の交通状況

- 外環千葉区間開通前、北千葉道路(成田市船形～押畑)開通前後の国道16号の旅行速度を比較。外環千葉区間、北千葉道路(成田市船形～押畑)開通後においても、国道16号では、混雑が発生している。



災害時の状況(令和元年台風19号の状況)

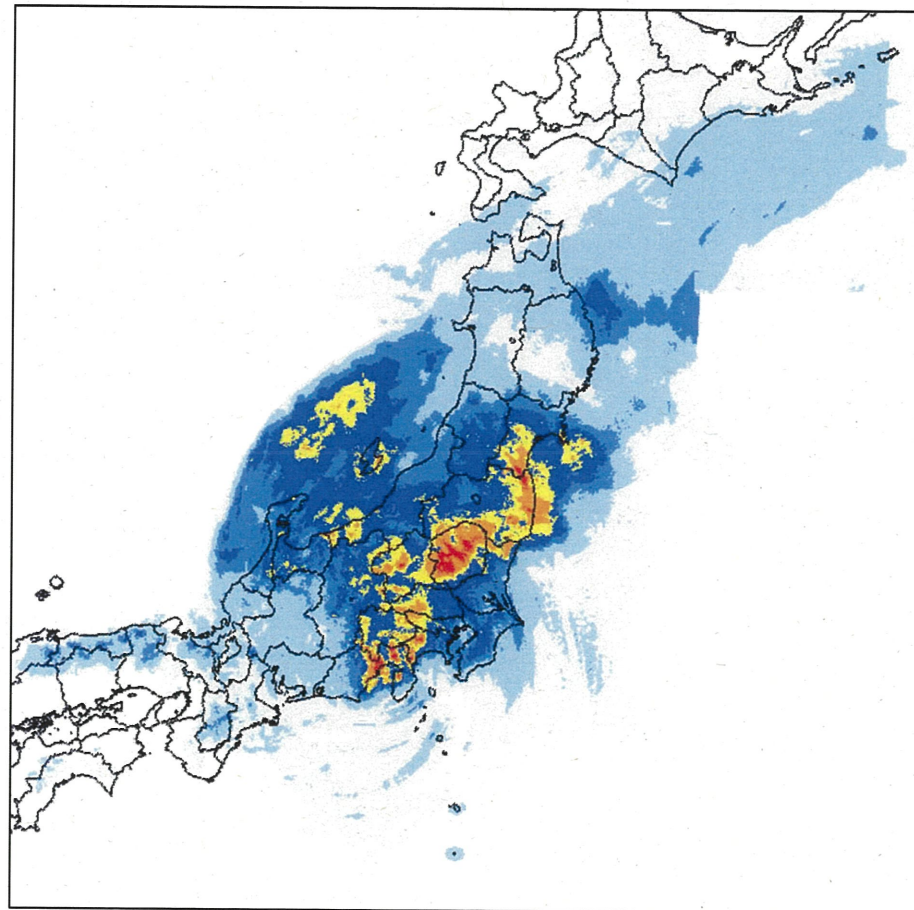
■令和元年台風19号

令和元年10月12日19時前に伊豆半島に上陸、関東地方を通過。関東甲信地方で広範囲の大雨を観測。

この大雨の影響で、広い範囲で河川の氾濫が相次いだ。

台風19号による洪水に対して、渡良瀬遊水地、菅生調節池、稲戸井調節池、田中調節池で過去最大となる合計約2.5億m³(東京ドーム約200杯)の洪水貯留効果を発揮。

10月12日18時～19時 1時間降水量(解析雨量)



災害時の状況(令和元年台風19号の状況)

○令和元年台風19号

令和元年10月12日19時前に伊豆半島に上陸、関東地方を通過。関東甲信地方で広範囲の大雨を観測。

この大雨の影響で、広い範囲で河川の氾濫が相次いだ。

台風19号による洪水に対して、渡良瀬遊水地、菅生調節池、稲戸井調節池、田中調節池で過去最大となる合計約2.5億m³(東京ドーム約200杯)の洪水貯留効果を発揮。

各調節池の洪水貯留状況

国土交通省

●台風19号による洪水に対して、渡良瀬遊水地、菅生調節池、稲戸井調節池、田中調節池で過去最大となる合計約2.5億m³(東京ドーム約200杯)の洪水貯留効果を発揮しました。

渡良瀬遊水地

【平常時】



↓
約1.6億m³貯留

【出水時】



R1.10.13上空から撮影

菅生調節池、稲戸井調節池、田中調節池

【平常時】



【平常時】



↓
合計約9,000万m³貯留

【出水時】



R1.10.13上空から撮影

【出水時】



R1.10.13上空から撮影

※数値等は速報値のため、修正となることがあります

出典：関東地方整備局 利根川上流河川事務所
令和元年10月14日付 記者発表より抜粋

災害時の状況(国道16号の交通状況)

- 去年の台風19号の際には、田中調整池内の市道が通行止めを余儀なくされ、その結果、並行する国道16号に交通が集中した。
- 国道16号の外回りは、柏IC～若柴にかけて旅行速度の低下が発生(全線通行止め期間中)
- 国道16号の内回りは、柏IC南側～大島田区間(全線通行止め期間中)および柏IC南側～桜台南側(一部通行止め期間中)にかけて旅行速度の低下が発生した。



出典：ETC2.0プローブデータ (R1年10月)

今後の進め方

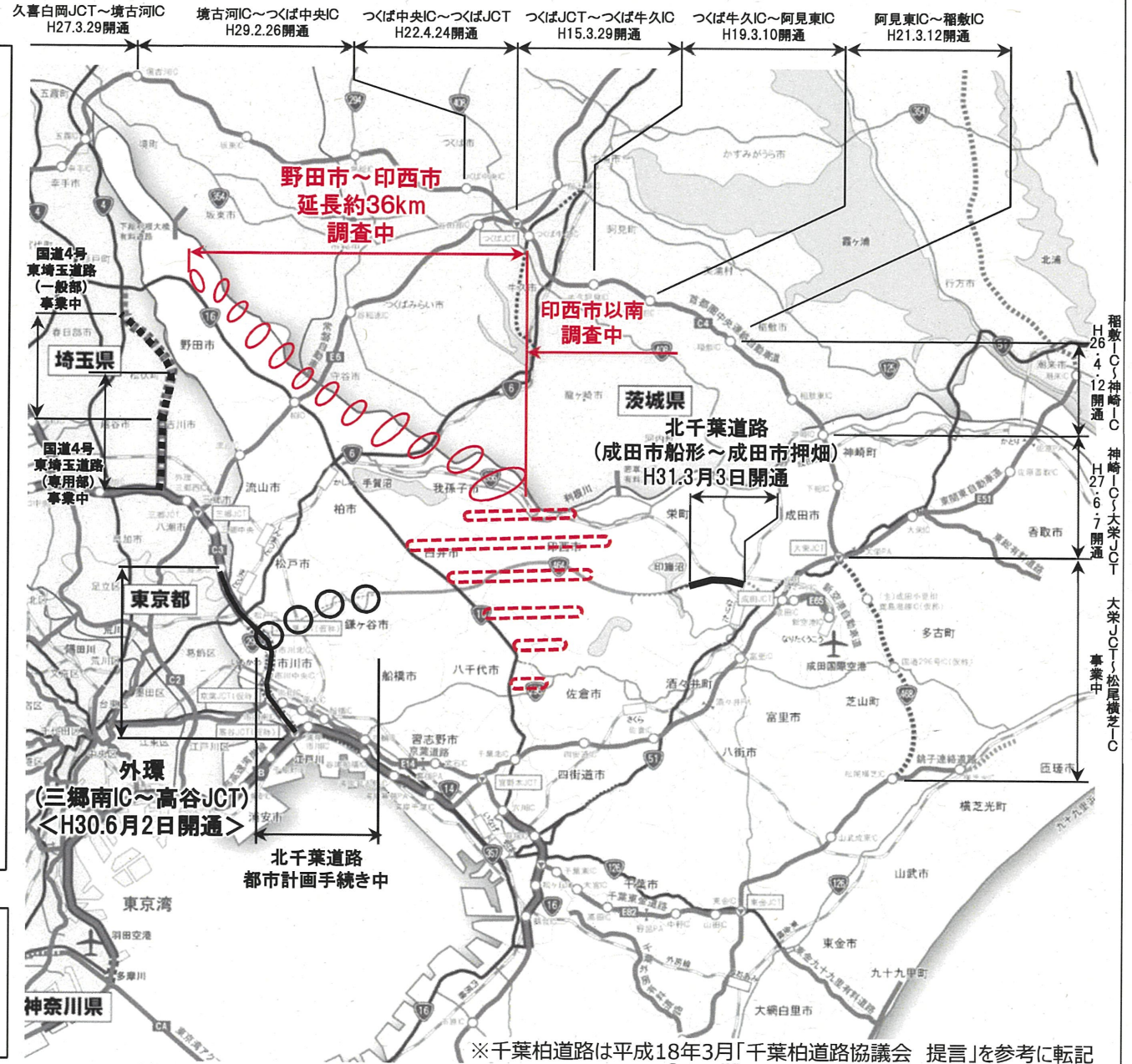
■今後の進め方

●野田市～印西市間 (利根川沿いルート)

- 外環道や北千葉道路等の開通後においても、国道16号は渋滞
- 令和元年台風19号による豪雨災害もふまえ、利根川水系の地域の防災・減災、まちづくりと連携した検討が必要
- 今後、事業の目的となる解決すべき課題や背景を把握し、その分析をふまえ、達成すべき政策目標を検討
- 延長(約36km)を考慮し、周辺道路との接続のあり方も含めた整備を検討
- 上記を検討するための新たな検討の場を立ち上げ、具体的な検討を進めていく。

●印西市以南のルート

- 野田市～印西市間(利根川ルート)とは別に検討を進める。



稲敷IC～神崎IC H26.4.12開通

神崎IC～大栄JCT H27.6.7開通

大栄JCT～松尾横芝IC 事業中